

2015～2016年度

Weekly Report



【市貝町 芝桜】

2016. 3. 17 NO. 2790

国際ロータリークラブ会長テーマ 「世界へのプレゼントになろう」

国際ロータリー第2550地区

真岡ロータリークラブ会長テーマ 「入って学び 出でて奉仕せよ」

真岡ロータリークラブ 会長 田村 浩次

- 司会 副SAA 久保 賢司 君
- 点鐘 会長 田村 浩次 君
- ロータリーソング それでこそロータリー
- お客様 真岡青年会議所理事長 伊澤 学 様
- 真岡青年会議所人間力研修委員会副委員長 小林 幹央 様



■会長挨拶 会長 田村 浩次 君

■本日のスマイルボックス 見目 良一 君

皆さんこんにちは。本日のお客様を紹介します。

真岡青年会議所理事長伊澤学様、人間力研修委員会副委員長小林幹央様です。真岡青年会議所の歴代理事長には、真岡ロータリークラブにおいて外部卓話をお願いするのは恒例プログラムとなっています。青年会議所の活動をする上で、年齢上限が40歳とお聞きしています。また、入会する年齢は若いほど良いとも言われています。大変若い経営者の皆さんが常に活力に満ちた行動をし、事業をこなしていますので、そのリーダーの卓話は毎年刺激的な内容でした。今日も伊澤様の卓話を楽しみにしています。

よく「鉄は熱いうちに打て」と言われます。青年会議所内のメンバーは、まさに熱い鉄の塊とも思えます。そのような中で、伊澤理事長が若く情熱あるリーダーシップをどのように発揮しているかお聞きしたいと思います。

私達会員は、今日の卓話を聞くことによって元気と希望を与てもらいましょう。

田村浩次 会長

真岡青年会議所理事長伊澤学様、今日は卓話ありがとうございます。今日は若いエネルギーを注入してください。

久保康夫 幹事

青年会議所伊澤様、小林様、今日は卓話ありがとうございます。急なお願いにもかかわらずご対応頂き感謝します。第4G合同ゴルフコンペ参加者の皆様お疲れ様でした。二次会田村会長を肴に美味しいお酒が飲めましたね。

月曜日

宇都宮90⇒東武ホテルグランデ
小山中央⇒思 水 荘

火曜日

真岡西⇒フォーシーズン静風
宇都宮⇒東武ホテルグランデ
宇都宮東⇒ホテルニューイタヤ

水曜日

益子⇒益子カントリー
しもつけ⇒石橋商工会館

木曜日

宇都宮西⇒東武ホテルグランデ
宇都宮北⇒宇都宮グランドホテル

金曜日

小山東⇒ウイ・テ・マリアージュ

会長 田村浩次 幹事 久保康夫 会報委員(市村忠男・柳田尚宏・坂本光・**太田浩彰**・渡邊佳寛)

事務局

〒321-4305 栃木県真岡市荒町1203(商工会館内)

TEL 0285-84-2511 FAX 0285-84-2510

e-mail:rc-moka@sweet.ocn.ne.jp

宇賀神裕一 エレクト

真岡青年会議所理事長伊澤様、本日は宜しくお願ひします。先日会長エレクト研修PETSを足利の地で受けて参りました。

杉村久夫 会員

今日はようやく春らしい陽気になりました。スマイルもご無沙汰していました。

篠原泉 会員

真岡青年会議所伊澤理事長様、ご同行の皆様御苦労様です。卓話楽しく拝聴致します。JC大好きな老年兵です。

篠原宣之 会員

JCの伊澤理事長卓話ご苦労様です。気楽にやって下さい。

岡本俊夫 会員

真岡青年会議所第48代理事長伊澤君、本日は御苦労様です。JCの思いの程を拝聴致します。

小林勇一郎君、先日は蒞の臺ありがとうございます!!

孫が高校入学OKになりました。

石田順一 会員

伊澤理事長卓話拝聴させていただきます。いつも息子の「石田幸宏」がお世話になっております。くれぐれも悪い遊びは教えないでください。

柳浩雄 会員

真岡青年会議所理事長伊澤学様、副委員長小林幹央様、卓話にお越し頂きありがとうございます。

本日所用のため出席できず申し訳ございません。

杉田貞一郎 会員

伊澤理事長卓話ありがとうございます。本日で芳賀町3月定例議会が終わりました。新年度に向け、心新たにがんばっていきたくと思います。

金子正男 会員

真岡青年会議所理事長伊澤学様、卓話拝聴させていただきます。

何か今度「電車に絵を描こう」というイベントがあるそうですが、亀田湯来葉という名で応募してありますので、よろしくお願ひ致します。

大瀧和弘 会員

伊澤理事長卓話ご苦労様です。会員増強委員長としてぜひお願ひしたいことがあります。ご検討下さいますようよろしくお願ひ致します。

久保賢司 会員

先日の4クラブ合同ゴルフコンペでは大変おつかれ様でした。金子正男さん、楽しい夜をありがとうございました。

太田浩彰 会員

学君、卓話よろしくお願ひ致します。本日の会報担当、僕なので早口で長く話さないで下さいね。

渡邊佳寛 会員

真岡JC理事長伊澤学様ようこそいらっしゃいました。学ちゃんの卓話大いに期待しております。

皆様方のお陰で、我が荒町教室の県立高校受験者全員合格を達成できました。

青木圭太 会員

伊澤理事長、小林君ようこそおいで頂きました。卓話楽しみにしております。

■幹事報告

幹事 久保 康夫 君

この前の炉辺会合のピックアップです。

- ・現在の継続事業の再考
- ・商工会館のバリアフリー(音響含めて直して欲しい)
- ・若い会員が入って魅力ある活動
- ・スマイルからの持ち出しを考える
- ・会長のロータリーの深い話を聞きたい
- ・圧力をかけての入会勧誘はNG
- ・若い人達を入れよう(JC会員への働きかけ)

ロータリー財団からお礼の手紙が来てます。動画なので見たい人は久保幹事に頼んでください。

4月10日 下野ロータリー創立20周年記念の参加者募集
4月5日 真岡観光リス村で午後6時半より花見例会の開催
4月23, 24日 親睦家族旅行の参加願ひ(静岡焼津方面)
是非、奥様と一緒に多数ご参加ください。

宇南山会員より皆様に「ぶつきょうスクール」をいただいておりますので是非、御一読ください。

■委員会報告

委員長 大瀧 和弘 君

会員増強の大瀧です。2つ程皆様にお願ひがございます。1点目は今年度まだ新しい会員を迎えることが出来てません。会員皆様ひとりひとりにあらためてご協力をお願いします。ロータリー60周年を迎える時はメンバー60人揃えることを大きな目標にしていきたいと思ひます。もう1点、皆様ロータリーをやめないでください。



みなさんこんにちは。真岡青年会議所の第48代理事を仰せつかっております伊澤と申します。私の拙いお話しで申し訳ないですが、本日は精一杯20分間お話しさせていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

まず最初に、先日、渡辺先生からロータリークラブに来るにあたって讃岐うどんを50食持参するように仰せつかったのですが、力不足で持って来れませんでした。誠に申し訳ございません。渡辺先生には中学校でお世話になっておりまして、その当時、3年生の受験前に、私はがんセンターに入院しておりました。精神的にも肉体的にもかなり辛かった時期ですが、渡辺先生と渡辺先生のお母様には、いろいろ暖かいお言葉をかけていただいて非常に励みになり、今ここにいますとっております。非常に感謝しております。これをまずお伝えしたくて参りました。

青年会議所の第48代理事を仰せつかっておりますが、うちの父は地域に出てなにかやるタイプの人間ではございませんので、伊澤は何者だという方も多いと思いますので、会社と私の紹介を簡単にさせていただきたいと思っております。

私の会社は大泉エンジニアリングと申しまして、住まいは大内の原町十字路の近くで日下田材木さんの南のほうにあります。会社もやっておりますが、もとは百姓です。今もやっていますが、米を4町歩ぐらい作っております。百姓は母がリーダーで、コンバインや田植え機に乗ってくれて僕が地走りをするという形でやっております。ご存知のように農業はなかなか伸びていけないので父は商売のほうに集中しておりました。私自身は大学を卒業してから東京で設計事務所にとずっと務めていましたが、いずれはこっちに帰ってきて百姓と設備屋の親父をやんなきゃならんだらうなと思っていて、震災の前の年ぐらいにこちらに帰ってきて、今は代表取締役をやらせていただいております。

青年会議所に入会した経緯といいますと、真岡に帰ってきてすぐに大前神社の柳田耕史君が私を誘ってくれました。そのときすごく心に残ったのが芳賀教育美術展という事業をやっているという話でした。青年会議所のOBの方もたくさんここにいらっしやと思っておりますが、私は幼稚園の頃、まだ芳賀芸術展だった頃だと思います。造形教育研究会賞というものいただきました。市民会館で今と同じように舞台の上に乗って、表彰をうけたことがありました。その時の記憶というのがとても鮮明に残っていて、その頃まで自分の中で得意なものとか自慢できることは特にありませんでしたが、そこで表彰されて家族が非常に喜んだということが、自分の中でものづくりや絵を描くことをすごく楽しいと思う契機になったという気持ちがありまして、それを事業としてやっている団体が今もあって、今も続いているということに感銘を受けました。それから会社がある程度落ち着いてきたら青年会議所に入りたいなという風に考えておりました。そして、2011年の3月11日の震災の後ですね。当時の青年会議所のメンバーの皆さんの活躍を見て、是非入らせてくださいと懇願して入会させていただき、今ここにきてしまったという次第でございます。

芳賀教育美術展について、今年の実業についても話して下さいということをお願いしておりますが、今年も実施する予定でございます。今年、30回を迎えます。もともと昨年までは、ここにおられる青年会議所のOBの皆様が作っていただいた基金を使って運営してまいりましたが、昨年で完全にゼロになりまして、ここから30回以降もなんとしてもやっていかなければならないと思っておりますが、どうやっていくかということを探る年になります。

何千人という子供たちがこれまで表彰されてきましたが、間違いなく子供たちに良い芽を残していつていると思っております。はっきりした形ではないかもしれませんが、これをきっかけに絵が好きになったり、ものづくりが好きになったり、前向きになったり、勉強がなくても僕は絵を書くのが楽しい、得意だと自信を持つことができたりもするでしょう。そういう子供たちをこれからも増やしていきたいと思っております。先輩の皆さまにもお願いにあがることもあるかもしれませんが、その際はご協力とご助言をいただければありがたく思います。

そして、その委員会ですが、子ども未来創造委員会と申しまして、美術展のほかの一つ毎年、美術を使った事業を行ってきております。今年は、先ほどお話にありました真岡線に直接子供たちが絵を描き、1か月実際に走るという事業です。許可をもらうのが非常に難しい事業計画だったんですが、広瀬みさ子委員長が走り回ってなんとか話をまとめるまでに至りました。昨年は、那須烏山の委員長だったので、那須烏山の伝統工芸の和紙を使って7mx7mx3mのテントを作って子供たちにそこに自画像を描いてもらってそれを久保講堂に展示するという事業をやりました。これらは絵画の事業を通じて子供たちの創造力を伸ばすということが一つありますが、同時に是非地域の建物、文化というものも知ってもらいたいという意味でやっています。今年でいうと絵と真岡線という地域の宝を組み合わせた事業になり、事業を1個だけでなく、2個、3個とそれぞれの意味を重ねていくことで、事業の可能性を拡げていくことを進めています。

また、昨日の夜、郷土創生委員会の事業がありました。昨今人口減少という中で地方創生が叫ばれておりますが、青年会議所では郷土創生委員会という名前にしておりまして、何処かの地方ではなくて、私たちの故郷を創生するのは私たちしかいないという意味を込めて郷土としております。昨日の委員会では行政職員の方が約50人ほど集まらせていただきまして、内閣府からも地方創生室参事官補佐の横田さんがいらっしやいまして、栃木県の職員の方、真岡市等の市町村(4市6町)の方が集まってディスカッションと講演会という形で行いました。行政職員の方と普段付き合うこともありますが、緊張したり、また行政的な立場でしか対話をしてもらえないこともあります。昨日は非常に腹を割って話ができまして、また高校の友達が職員にいたりしたこともあり、「お前なにやってるんだよ～」から始まって、「実はこういうこと考えてるんだ」「それおもしろいんじゃない」と、これを機会に、行政に対しては行政まかせで頼るばかりでなく、「俺らが民間でやったってしょうがないんだ」とあきらめてしまうのではなく、若い人同士で垣根を超えてやっていく必要があります。

これから本当に人口が減少していく時代、今の青年会議所は20～40歳までとお話ししましたが、私も含めて現役のメンバーは好景気の日本というのを経験してきていない世代でして、これから社会を、ぱっとイメージすると悪くなっていくことしかイメージできないんですね。でも私たち自身が、人口は減りながらも良くなっていくんだぞという良いイメージを力強くもたないと、これからの時代は良くなっていかないという風に考えております。一緒に行政も民間も立場を超えて頑張っていこうということで今年やらせていただいております。

そして、ロータリークラブ様の拡大のお話もございましたが、拡大ということであれば青年会議所にも声をかけていただいて拡大についてもいろいろな団体と協力してできればと思っております。入るといふ噂もある瓦屋さんとか、今年は卒業生もおりますし、青木君ではないですが若いメンバーでも興味があるメンバーもいると思っておりますので、気楽にお声がけいただければと思います。

あまり急に誘われるとびっくりするメンバーもいると思いますが、ロータリークラブの魅力などを伝えていただければと思いますし、お声がけいただければPRにご協力していきたいと思っております。

実際、今70名のメンバーで、今年卒業生が18人です。今まででも最大級の卒業生ですね。拡大の委員会には「18人はマストだぞ」というお話をされていて顔が青ざめているかと思いますが、いまのところ正会員はまだ一人も入っておりません。私の力不足だと思っていますが、ここから少しずつなんとか入れていきたいと思っています。どの青年会議所も会員拡大に苦労しております、その中でも真岡青年会議所は会員資格規定が一番厳しい訳ですが、ほとんど昔から規定をいじっていない中で、入会が難しい青年会議所となっております。しかし実際には毎年拡大に成功しております、なんとか今年も70名を維持していくというところで進めております。今のところ仮会員で入ってきているメンバーで積極的に入りたいという人がいるので非常にありがたいと思っておりますが、今年もなんとか18名、そして目標の23名、30%以上を目指して実現し、地域を盛り上げる仲間を増やしたいと思っております。

もう一つはロータリークラブ様のメンバーでございます。青年会議所では青木委員長。青木委員長はグローバルマインド向上委員会の長として、真岡は栃木県でも外国人比率の高い地ということで、一昨年もグローバルマインドということをやっていますが、外国の人と交流したりしています。今、もうグローバル化ということは避けられない。身の回りのちょっとしたもので外国との関係なくして考えられない。外国と繋がっているということを見逃しているいろいろな計画を立てることができない時代になってきているということで、グローバル感、グローバル意識の向上ということを目的にしております。具体的な事業内容はこれから出てくるころなので、最終的にどんなものになるか楽しみにしていますが、是非ご興味を持っていただいて、会員以外が入れる例会の場合はご参加いただければと思います。

今年度の真岡青年会議所のスローガンとして「魂を振るわせろ」と、お手持ちの基本資料の方に書いてありますが、メンバーに対してはこういうことをやってくれということよりも、参加したメンバーや参加してくれた地域の人に、なるほどああ青年会議所はこういうことやっているんだ、青年会議所は面白いねと感じてもらえる、心を動かすような事業をしっかりと作りこんでもらいたいと思っております。私たち青年会議所のメンバーの一人一人が、「誰かがやってくれっぺ」「どうにかなっぺ」という考えでは本当に青年会議所はどんどん小さくなってしまし、地域に必要とされない団体となってしまふ。

裏表紙の写真は、市庁舎が建った当時の市役所の写真でして、企画課様をお願いして掲載させていただいております。その当時、芳賀青年商工会議所、真岡青商ができて、岩崎純三先輩をはじめとする先輩方が、走り回って今の真岡市があるのだと思っております。戦後の経済が伸びていく中で、青年会議所だけでなく本業のビジネスも含めてですが、それがあって私たちが楽しく生きている今の地域がある。そしてこれから、それを作っていくのが私たち一人ひとりで、この写真の頃から真岡が大きく変わったように、私たちの時代も大きく変わっていくと思うんです。それをメンバーに知ってもらいたくて、この写真を添付しました。

先ほど、石田様からお話があったんですが、今の青年会議所のメンバーは結構、不景気の時代が長くて元気がないっていうのもありますが、事業も交流もちょっと真面目すぎるかなと思っております。ですからOBの先輩方に「青年会議所は遊んだほうがいいよ」と話をされるくらい、会員として交流していても石田君も真面目にやっていますので、お子さんとかお知り合いとか入れてみたいという人材がいらっしゃいましたら、安心して預けていただければ、JCの中で成長していただければと思いますので、ご入会をお願いしたいと思います。

最後に、総務広報委員会という形で、インターネットを使った広報というのも一般的になっています。広報というと今まではチラシを何千枚も刷って全小学校に配るということをやっていましたが、各種メディアを積極的に活用してPRしたり、事業への一般参加者のデータベースを構築して、ニーズに合った広報を行うというものに取り組んでおります。今回の真岡線の事業ですが、チラシを作らずに、そういった広報を活用したら80名という制限の中で、すぐに80名を超え、今日はもう100名を超えていて、抽選はどうなるのかと心配しております。先ほど申し込みいただいたとお聞きしたんですが、抽選なので漏れる可能性はあるものの、なんとか当選していただければと思っております。

最後に、私は青年会議所に入るまでは、成長というのは自分が勉強すればいい、自分が良くなればいいんだと、その程度の本当につまらない男でした。青年会議所に入ると仲間ができ、ロータリークラブの皆さまもそうだと思いますが、大変な事業を通じて、困難を本気で乗り越えていく中で、真剣に語り合える仲間ができる。地域の企業でも、名前は知っているけど、どんな人がやっているんだと思っていたのが、顔が見えてくる。これだったらこの人にまかせてみようかなという仲間ができてくる。そういう人間関係や事業を通じて、本当に自分の子供や会社を良くしていくためには地域や周りを本気で良くしていかなければいけないと、本心で思うようになってきました。自分でも俺どうしたのかなと思っていますが、青年会議所という環境は、たぶんそうやって人材作りを先輩たちが紡いできて、今に繋がってきているのだろうなと思っております。

私の理事長としての役割は、各事業については委員長の皆さまに任せてありますので、青年会議所の歴史を理事長として背負いながらこの一年間を過ごし、次に繋げていきたいなと思っている次第でございます。甚だ簡単でございますが、以上で理事長卓話とさせていただきます。

改めて芳賀教育美術展に関しましてはロータリークラブの皆さまには毎年ご協賛いただきましてありがとうございます。今年度も変わらぬご支援をいただければ幸いです。本日は本当にありがとうございました。



